

・(5-1) スポーツ振興課所管事業

1. 保健体育総務費
2. 保健体育施設総務費
3. スポーツランド施設管理費
4. スポーツセンター施設管理費
5. 市民体育館施設管理費
6. 武道館施設管理費
7. 中央公園運動広場等施設管理費
8. スポーツ大会
9. 学校体育施設開放事業
10. 指導者研修会・養成講習会
11. スポーツ団体育成事業
12. 生涯スポーツ活動推進事業

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		保健体育総務費			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始 ** 年度				
					終了予定 ** 年度				
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第31条、野々海市スポーツ推進審議会に関する条例、スポーツ基本法第32条、野々海市スポーツ推進委員に関する規則				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々海市がスポーツ推進審議会委員及びスポーツ推進委員に		事業の目的	審議会委員の提言や助言をスポーツ推進委員の協力のもとに、スポーツ事業の推進と普及を図る。					
事業の内容	スポーツ推進審議会の開催。 スポーツ事業の推進を図るため、スポーツ推進委員の委嘱を行う。		平成29年度 活動実績	・スポーツ推進審議会委員の委嘱及び審議会の開催 ・スポーツ推進委員の委嘱 ・各種団体への負担金					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	成果指標	数値指標の設定になじまない		**	**	**	**		
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算				
		国庫支出金 (千円)	0	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	7,269	5,560	4,840				
	事業費計 (千円)	7,269	5,560	4,840					

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の継続	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の継続	・審議会の継続 ・スポーツ推進委員の継続 ・スポーツ推進計画に基づく事業の継続

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	スポーツ推進審議会のご意見などを、スポーツ振興事業の推進に活かすよう努める。・スポーツ推進委員による積極的な研修会等への参加と、他市町での先進的事例、取り組みなどを研修いただき、本市における生涯スポーツ事業の推進に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		従来からのスポーツ種目は基より、市民に親しまれるニュースポーツの普及に努め、市民同士の親睦やコミュニケーションの場として活用してもらおう。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		保健体育施設総務費			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード・ソフト事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市の管理するスポーツ施設を安全快適なものとして、保全管理の徹底と効率的な活用に努めるものである。				
事業の内容	・市内スポーツ施設の維持・管理及び改修等事業。		平成29年度活動実績	スポーツセンターワイヤレスマイク機器更新工事、健康広場管理棟倉庫改修工事、スポーツランド監視カメラ記録装置取替工事、市民体育館玄関ホール床及びスロープ改修工事外				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	施設の利用人数	人	350000	323397	322219	330000	
事業のコスト	事業費	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	15,000	16,300	15,000			
		一般財源 (千円)	52,767	42,414	49,078			
	事業費計 (千円)	67,767	58,714	64,078				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進	体育施設の計画的な維持管理 市体育施設整備計画の推進

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		計画的に施設を整備し、施設の長寿命化に努める。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツランド施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る				
事業の内容	施設の維持・管理		平成29年度 活動実績	・温水ボイラー点検整備業務委託 ・夏季屋外プール安全管理業務委託外				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	43,745	43,840	42,991			
	事業費計 (千円)	43,745	43,840	42,991				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		計画的に施設を整備し、施設の長寿命化に努める。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツセンター施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理	平成29年度 活動実績	トレーニングマシン保守点検外					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	8,248	9,934	10,122			
	事業費計 (千円)	8,248	9,934	10,122				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		計画的に施設を整備し、施設の長寿命化に努める。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		市民体育館施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務 ハード事業 単独事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理	平成29年度 活動実績	施設管理委託業務(受付・管理)外					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	15,721	15,564	16,857			
	事業費計 (千円)	15,721	15,564	16,857				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		計画的に施設を整備し、施設の長寿命化に努める。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		武道館施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本法		根拠法令	スポーツ基本法 第12条			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保全管理の徹底と効率的な活用を図る				
事業の内容	施設の維持・管理		平成29年度 活動実績	消防用設備保守点検業務外				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	成果指標になじまない		**	**	**	**	**
事業のコスト	財源内訳	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0		
		県支出金	(千円)	0	0	0		
		地方債	(千円)	0	0	0		
		その他	(千円)	0	0	0		
		一般財源	(千円)	1,054	992	994		
	事業費計	(千円)	1,054	992	994			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者の快適な利用に配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		計画的に施設を整備し、施設の長寿命化に努める。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		中央公園運動広場等施設管理費			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ハード事業 単独事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本法	根拠法令	スポーツ基本法 第12条				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市直営による安全快適な施設とし、保安全管理の徹底と効率的な活用を図る					
事業の内容	施設の維持・管理	平成29年度活動実績	中央公園運動広場夜間照明設備点検業務外					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	成果指標になじまない	**	**	**	**	**	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	4,233	3,736	3,714			
	事業費計 (千円)	4,233	3,736	3,714				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理	施設の計画的な維持管理

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しながら適正で安全な維持管理に努める。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツ大会			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第22条第1項				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内在住もしくは市内勤務・通学の中学生以上の人に		事業の目的	ニュースポーツに親しむことによって、運動不足の解消と健康増進を図るとともに、市民のコミュニケーションを深めることを目的とする。					
事業の内容	市スポーツ推進委員会が中心となって普及しているトリプルソフトバレーの大会。 4~5人1チームで、各チーム予選3試合を行い、上位チームで順位決定戦を行う。		平成29年度 活動実績	平成29年度は19チーム88名の参加がありました。参加してくれた方々には体を動かすいい機会になったと好評でした。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	トリプルソフトバレー大会		人	160	111	150	150	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0		
			県支出金	(千円)	0	0	0		
			地方債	(千円)	0	0	0		
			その他	(千円)	12	12	12		
			一般財源	(千円)	58	52	52		
	事業費計	(千円)	70	64	64				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。 新たなニュースポーツ大会の開催。	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。 新たなニュースポーツ大会の開催。	トリプルソフトバレーを継続しながら、新たな種目の普及に努める。 新たなニュースポーツ大会の開催。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	現在市ではトリプルソフトバレーを推進しており、大会も9回開催している。参加者からも好意的な意見が多く受けられている。今後はトリプルソフトバレーの他にも新たなニュースポーツを取り入れていきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		近年トリプルソフトバレーを推進してきたが、その他にも新しいニュースポーツ大会の開催を検討していきたい。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		学校体育施設開放事業			所管	部	教育文化部	
						課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務		
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業		
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第13条第1項 野々市市立学校の施設の開放に関する規則				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市スポーツクラブ会員及び市スポーツ少年団、市体育協会加盟団体に		事業の目的	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し市民のスポーツ活動の振興を図る。				
事業の内容	学校開放運営委員会を設け、市内7校の教員及び学校利用団体代表者による開放運営委員会議を開催し、小・中学校の屋内体育館及び屋外運動場(体育館6、運動場6)の開放を行っている。		平成29年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会 				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	学校体育施設利用者	人	88000	96601	96803	96000	
		学校開放件数	件	3000	3381	3365	3300	
事業のコスト	財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		国庫支出金 (千円)	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	1,027	1,037	2,137			
	事業費計 (千円)	1,027	1,037	2,137				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会	学校体育施設開放運営委員会 学校体育施設開放指導員打合せ会

自己評価

自己評価	前年度自己評価	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		多くの市民が利用しており、学校活動に支障のない範囲において、適切に施設開放が運用されている。今後も適切に施設が運用されるよう努めたい。	

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		指導者研修会・養成講習会			所管	部	教育文化部
					課	スポーツ振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成と体育施設の整備			区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度
					終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第11条、第14条			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市スポーツ推進委員、市スポーツクラブ員、市スポーツ少年団指導者・保護者、市体育協会員、市民及び市内勤務の人に		事業の目的	指導者を育成し、その指導者を中心として広く市民に安全で楽しくスポーツに親しむ機会を提供する。			
事業の内容	・市スポーツ推進委員の各種研修会への派遣 ・スポーツ傷病の予防と応急手当講習会(救急法・テーピング実技)		平成29年度 活動実績	北陸地区スポーツ推進委員研修会など多数の研修会へ市スポーツ推進委員を派遣した。また、応急手当講習会などの各種講習会の開催も実施した。			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	成果指標	市スポーツ推進委員の研修会参加人数	人	70	46	50	55
		スポーツ傷病の予防と応急手当講習会参加人数	人	60	45	50	55
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0		
		地方債 (千円)	0	0	0		
		その他 (千円)	0	0	0		
		一般財源 (千円)	1,021	230	231		
	事業費計 (千円)	1,021	230	231			

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。	引き続き研修会等を通じて指導者の育成に努め、市民への実技指導に反映させる。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	北陸地区スポーツ推進委員研修会等へのスポーツ推進委員の派遣を通して、市民を対象とした事業に活かしていく。また、スポーツ活動を安全に行ってもらうために応急手当講習会等の講習会も実施する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		北陸地区スポーツ推進委員研修会への派遣を通して、スポーツ推進委員資質向上及び新たなニュースポーツの普及につなげていく必要がある。		

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		スポーツ団体育成事業			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 2 スポーツ団体の育成と体育施設の整備			区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業 単独事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始		**	年度	
					終了予定		**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	スポーツ基本法第22条、第34条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民および体育協会並びにスポーツ少年団等に		事業の目的	市民の健康増進とスポーツ事業の推進を図る。					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種全国大会等に出場する選手への激励費の支給 小学生相撲大会、さわやかスポーツフェスティバル、野々市じよんからの里マラソン大会各実行委員会への委託事業 体育協会、スポーツ少年団等への補助金の支給等 		平成29年度 活動実績	さわやかスポーツフェスティバル等は例年よりも参加者が増えている。 また、全国大会出場選手へ激励費の支給、体育協会・スポーツ少年団への補助金の支給を実施した。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	成果指標	野々市じよんからの里マラソン大会の参加者		人	1600	1083	1400	1400	
事業のコスト	事業費	区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	0			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	0	0			
			一般財源 (千円)	15,815	16,109	17,702			
		事業費計 (千円)	15,815	16,109	17,702				

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 野々市じよんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等) 	<ul style="list-style-type: none"> 国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 野々市じよんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等) 	<ul style="list-style-type: none"> 国際大会、国体等に参加出場する選手に激励費を支給する。 野々市じよんからの里マラソン大会各実行委員会委託事業。 各団体の補助事業(団体事務局への指導・助言等)

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中) 	理由
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等) 体育協会、スポーツ少年団の自主運営に向けた意識の向上及び団体事務専任職員による主体的な団体事務運営を図る。			

平成30年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成29年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称		生涯スポーツ活動推進事業			所管	部	教育文化部		
						課	スポーツ振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 2 生涯スポーツの普及と振興			区分	自治事務			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(4) スポーツ活動の推進				ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始		** 年度
					終了予定		** 年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	スポーツ基本法第22条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市民各層のニーズを勘案したスポーツ教室を開催することにより、健康を増進し体力向上を図るとともにスポーツ人口の拡大を図り活力あふれる地域づくりを目指す。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者健康クラブの活動補助 ・体力・運動能力調査の実施 ・エアロビック教室の開催 ・ニュースポーツ体験会の実施 ・スポーツガイドののいちの発行 		平成29年度 活動実績	各種講習会の開催を実施した。また、スポーツガイドののいちも発行した。					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	成果指標	高齢者スポーツ活動参加者数	人	1500	1200	1200	1200		
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度予算				
		国庫支出金 (千円)	0	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	427	418	468				
	事業費計 (千円)	427	418	468					

実施計画

年度計画	区分	平成31年度計画	平成32年度計画	平成33年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。	高齢者健康クラブ活動補助の実施。 体力テスト、ニュースポーツ体験会の実施。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	エアロビック普及事業については引き続きエアロビック連盟に対して委託する。またスポーツ教室については市民のニーズに合ったものを新たに検討し参加者増加につなげていきたい。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	内容の充実をはかり、新たなスポーツ教室の開催を検討する。			

・(5-2) 学識経験者からの意見

スポーツ施設の安全快適で効率的な利用を図るため、利用者のニーズを把握し、計画的に老朽化した施設の更新等に努めていただきたいと思います。

学校体育施設の利用件数が増加していることから、スポーツ施設同様に施設の充実及び利用促進に努めていただきたいと思います。

市内の各種行事(公民館行事等)に使用できるスポーツ関係備品を揃えていただき、市民のスポーツ人口の拡大及び体力の向上に努めていただきたいと思います。

ニュースポーツ普及のための体験会やスポーツ教室の開催などに今後も努めていただきたいと思います。

・(5-3) 今後の方針

- ① 快適に施設を利用できるよう配慮し、計画的に適正で安全な維持管理に努めます。
- ② スポーツ団体等に幅広く、学校体育施設を利用していただけるように、各小中学校と連絡を取り、利用促進に努めます。
- ③ 計画的にスポーツ関係備品の充実を図るとともに、既存の備品についても広く市民に使用していただけるよう関係団体等への周知に努めます。
- ④ 今後も、幅広い年齢層が楽しめるニュースポーツの普及の推進に努めます。